

毎日が、散歩の途中

男の勇姿が見たい!

文と絵 岡本杏子



杏

ロンドン五輪が終わった。今年例年以上にテレビ観戦を楽しんだ。今大会は女子の活躍が目立ったという評が高いが、本当にそう思う。なでしこジャパンを筆頭に女子の頑張りや笑顔が印象的だった。マイナー競技でも活躍が光った。アーチェリー団体の早川・蟹江・川中選手や重量上げの三宅選手の集中力はすごかった。柔道の松本選手や、レスリング小原・伊調・吉田3選手の見事な戦いっぷりに圧倒させられた。

厳しい顔で闘志溢れる女性たちは勇ましかった。その表情が一変して笑顔になる瞬間は思わずこちらも笑顔になった。表彰台の上の晴ればれとした表情にも魅せられ、同性ながら女の人の笑顔はいいものだナーと思った。

一方で、実は男子もよかった。体操の内村選手が個人戦で跳馬の着地をヒタリと決めた時は鳥肌が立った。あんな姿勢でくるくる回ってマットに吸いつくように着地するなんて超人的だ。どれほどの努力がその陰にあることか。ハンマー投げで銅メダルを決めた後、日の丸を背負って競技場をゆっくり一周した室伏選手には強くたくましい男も印象深い。卓球、競泳、フットボール、水泳、柔道の松田選手が「康介さんを手ぶらで帰すわけにはいかない」と3人で話していたという言葉には男の仁義を感じた。終盤に金を連発したボクシングの村田選手とレスリングの米満選手もよかった。表彰台の2人はどう見てもおとなしそうな青年で、両隣の屈強な外国人と見比べて「本当にあの人たちに勝ったの?」と不思議に感じたが、実際に頂点に立ったのだからすごい。明らかでさわやかに戦った女子、内に秘めた想いを静かに成し遂げた男子。男も女も、選手はみんな素敵だった。日頃、政治家や東電の

つかりな男の姿ばかり見て、正直、男にうんざりしていたが、五輪ではかっこいい男たちを見られて嬉しかった。女は男の勇姿が見たいのだ。選手が一緒に仲間や周囲への「感謝」を口にしていたのも印象深い。卓球、競泳、フットボール等のチーム戦で結果を残せたのも、和のために個が力を尽くした結果だ。一流のスポーツ選手から学ぶべきことはたくさんある。

テレビ観戦でひとつ残念だったのは、アナウンサーの過度なおしやべりとチームマンの繰り返しの時々消音モードにしてみるものの、無音ではやはり臨場感に乏しく……。「会場の音だけ聞こえるモードがほしい」とつくづく思った次第である。

岡本杏子(あかもと きょうこ)
神奈川県生まれ、世田谷区在住のライター。店舗・住宅・人物の取材執筆を得意とする。今までに経験し職は男女とも作家秘書などアルバイトと正社員を含めて20を超える。ライター業に落ち着き、は15年。散歩と読書猫をよき愛する。一女の母。

特別寄稿

ベトナムの海水浴

朝日新聞社 牧野 愛博

道の両側に広がる水田。編み笠ある小学校。1日あたり、500人ぐらいの患者が、ヴィンの近郊からここに集まって来るといふ。一番多い症例は「腰痛」。「恐らく田植えなどの農作業が多いせいでしょう」と自衛隊の医官が教えてくれた。彼らはベトナムの前はフィリピンで活動していたが、「初めて医者にかかった」と答えた人が多かった。フィリピンに比べ、ベトナムでは殆どが「病院を訪れた」と答えたという。医官は「貧富の格差が余り大きくないを買ったという。」「インフレが激

ハノイに比べたら、マニラは大きいから、ドン(ベトナムの通貨)の価値はすぐに下がる。土地の方が高絶対的に良い」と話す。ベトナムは社会主義だから、土地の所有権ではなく、使用权を譲渡するだけだが、皆、財テクに熱心だ。

知人は「男女平等に貧しい生活から始めた。でも、だんだん、ベトナムでも貧富の格差が広がりはじめ一挙に6点が並ぶレンブランドは壮観です。そのほか、フランス・ハルス、ルーベンス、ヤン・ブリューゲル(父)ら、巨匠たちの息もつかせぬ傑作の数々を堪能する格好の機会です。本展は、2010年から改修で休館していた東京都美術館の、リニューアルオープン後第一弾の特別展です。企画展示室の鑑賞環境が向上し、レストランなどの設備も充実。ますますフレンドリーさを備えた「新しい都美」に、ぜひ足を運んで下さい。

町ネタ

東南西北

マウリッツハイス美術館
オランダ・フランドル絵画の至宝

開催中〜9月17日(月)祝
東京都美術館(上野公園)
05777-8600(ハローダイヤル)
一般1,600円
東京都美術館(上野公園)

「17世紀オランダ・フランドルから、めぐるめく巨匠の競演」

17世紀のオランダやフランドルは、西洋美術史に大きな影響を及ぼした巨匠たちを、数多く輩出しました。本展では、17世紀オランダ・フランドル絵画の世界的コレクションで知られるオランダ・ハーグのマウリッツハイス美術館から、名品約50点を選び、紹介いたします。最大の注目は、世界的なフェルメール・ブームのシンボルの存在「真珠の耳飾りの少女」です。最初期の作品「ディアナとニンフたち」とあわせて、2点のフェルメールが出品されます。さらには、最晩年の「自画像」をはじめ一挙に6点が並ぶレンブランドは壮観です。そのほか、フランス・ハルス、ルーベンス、ヤン・ブリューゲル(父)ら、巨匠たちの息もつかせぬ傑作の数々を堪能する格好の機会です。本展は、2010年から改修で休館していた東京都美術館の、リニューアルオープン後第一弾の特別展です。企画展示室の鑑賞環境が向上し、レストランなどの設備も充実。ますますフレンドリーさを備えた「新しい都美」に、ぜひ足を運んで下さい。

甲子園
第94回全国高校野球選手権大会
代表49校
完全戦力データ

工藤公康
荒木大輔
吉永健太郎

LONDON 2012 OLYMPIC GAMES
オリンピック 総集編
週刊朝日増刊

甲子園2012 代表校49チームの戦力分析。甲子園を熱くする注目選手も紹介! インタビューは荒木大輔。

定価:500円(税込) / 週刊朝日増刊

思い出の夏を
朝日新聞出版の本で

お問合せ・お求めは、
ASA田端・ASA西ヶ原まで

ロンドンオリンピック 総集編

定価:880円(税込) / 発売日:2012年8月17日/A4変判 180ページ
綴じ 週刊朝日増刊